

現状・課題	
前提	
主な苦情	
市の ジレンマ	
市の対応	

街路樹(トウカエデ)について、市役所に苦情が殺到
街路樹は市が市道に植えた。木の選定は道路に面する町内会の代表の人と話し合っ て決めたもの。ただし町内会加入率は40%だった。
<ul style="list-style-type: none"> ・家の樋に葉っぱが詰まる。 ・店員が葉っぱの掃除におわれる。コストは誰が支払うのか。 ・雨に濡れた葉っぱのせいで車がスリップする。 ・実を飛ばして遊ぶ子どもが車道に飛び出す。 ・(木の選定など)いつ決まったのか。私は知らない。関係ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・木の選定は沿線の町内会と相談した。(習わしとしての住民参加) ・加入率が40%で地域のことが決められるのか。 ・この苦情の嵐を沿線の町内会は知らない。 ・市は財政難。すべての苦情に対応できない。 ・葉っぱの掃除を町内会でしてもらいたいが頼めない。 ・街路樹(トウカエデ)の効果は良いことだらけ。でも住民が知らない。 ・役所の中はタテ割り。越権行為とならないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・広報の『ワンポイント知識』で街路樹の必要性を啓発 ・葉っぱが色づいた時期に枝をすべて切り落とす(業者委託)